

森田実の

一期
一
縁

morita minoru no
ichigo-ichien

森田実の

一期一縁

morita minoru no
ichigo-ichien

森田実(もりた・みのる)

評論家。東日本国際大学客員教授。1932年、静岡県伊東市生まれ。神奈川県小田原市の相洋中学・高校卒業。東京大学工学部卒業。学徒動員の最後の世代として戦争を経験。若き日は原水爆禁止世界大会に参加し、広島・長崎の被爆地慰問など平和運動に取り組む。日本評論社出版部長、『経済セミナー』編集長をへて、73年に評論家として独立。以後、テレビ、ラジオ、著述、講演活動など多方面で活躍している。主な著書に『進歩的文化人の研究』(サンケイ出版)『公共事業必要論』(日本評論社)『森田実の言わねばならぬ名言123選』(第三文明社)など多数。

もり たみのる いち こいちえん
森田実の一期一縁

2014年11月18日 初版第1刷発行

2014年11月27日 初版第2刷発行

著者 もりた みのる 森田実
発行者 大島光明
発行所 株式会社 第三文明社
東京都新宿区新宿1-23-5 〒160-0022
03-5269-7154(編集代表)
03-5269-7145(営業代表)
振替口座 00150-3-117823
<http://www.daisanbunmei.co.jp>
印刷所 図書印刷株式会社
製本所 大口製本印刷株式会社

© MORITA Minoru 2014
ISBN 978-4-476-03339-7

Printed in Japan

乱丁・落丁本はお取り換えいたします。
ご面倒ですが、小社営業部宛にお送りください。送料は当方で負担いたします。
法律で認められた場合を除き、本書の無断複写・複製・転載を禁じます。

森田実の一期一縁

目次

第一章 平和について思うこと

私の八月十五日	9
一枚の写真	16
母の悲しみ	22
相洋中高時代	28
たった一人の平和運動	35
「赤とんぼ」の歌	41
忘れられない日	52
法華経の平和思想	57

第二章 素晴らしき出会い

沖縄の「平和の砦」…………… 66

F君への手紙…………… 74

隔世の感…………… 86

進歩的文化人…………… 94

エメラルド婚…………… 100

怒鳴り合い…………… 108

言論界の恩人…………… 116

洋上大学	122
「忠恕」の人	128
われは湖の子	139
人工衛星まいど一号	147
ネバーギブアップ	152
生涯現場主義	158
復興の旗印	166
エレキの「気」	173
北国のロマン	180
君子の三戒	187

Y君への手紙……………197

【発刊に寄せて】

森田先生のこと……………205
杉良太郎……………

題字／森田実

装幀・本文デザイン／阿部照子(テルズオフィス)

森田実の一期一縁

目次

第一章 平和について思うこと

私の八月十五日	9
一枚の写真	16
母の悲しみ	22
相洋中高時代	28
たった一人の平和運動	35
「赤とんぼ」の歌	41
忘れられない日	52
法華経の平和思想	57

第二章 素晴らしき出会い

沖繩の「平和の砦」	66
F君への手紙	74
隔世の感	86
進歩的文化人	94
エメラルド婚	100
怒鳴り合い	108
言論界の恩人	116

洋上大学	122
「忠恕」の人	128
われは湖の子	139
人工衛星まいど一号	147
ネバーギブアップ	152
生涯現場主義	158
復興の旗印	166
エレキの「気」	173
北国のロマン	180
君子の三戒	187

Y君への手紙……………197

【発刊に寄せて】

森田先生のこと……………205
杉良太郎……………

題字／森田実

装幀・本文デザイン／阿部照子(テルズオフィス)

第一章

平和について思うこと

私の八月十五日

一九四五年（昭和二十年）八月十五日。

あの時代に生きた人間にとって、大きなターニング・ポイントだった。これまで、あまり語ることもなかったのだが、忘れることのできない日だ。

玉音放送ぎょくおんを聞き、「戦争は終わった」と分かった。だが、それは前線での戦闘や空襲がなくなったという意味であって、人々の心のなかで「戦争のつめあ」とは終わってなどいかなかった。いや、むしろ、戦争がもたらした本当の悲惨